

# 飯塚市の 名誉市民

- Honorary citizen -



のみやま ぎょうじ

## 野見山暁治画伯が名誉市民

けんしやう

### として顕彰されました

©一般社団法人 野見山暁治財団



野見山画伯は、飯塚市出身の日本を代表する洋画家で、平成12年に文化功労者に選ばれ、平成26年に文化勲章を受章されました。

初期の代表作には炭鉱をモチーフとした連作の「廃坑」、安井賞を受賞した「岩上の人」などがあります。また、絵画のほかにも絵本や数多くのエッセイを執筆されるなど、文化芸術の分野でご活躍されています。

これまでの功績が称えられ、3月26日(土)に開催された飯塚市合併10周年記念式典において、名誉市民として顕彰されました。

これからますますのご活躍を祈念いたします。

#### 野見山暁治画伯の略歴

1920年	福岡県穂波村(現飯塚市)にて出生
1938年	嘉穂中学校(現嘉穂高等学校)卒業
1943年	東京美術学校(現東京藝術大学)卒業・応 <sup>おうしやう</sup>
1952年	渡仏(~1964年)
1958年	第2回「安井賞」受賞
1972年	東京藝術大学教授就任
1992年	第42回芸術選奨文部大臣賞受賞
2000年	文化功労者顕彰
2014年	文化勲章受章
現在	文化功労者、東京藝術大学名誉教授

## 新庁舎建設だより 第4号



### 野見山暁治画伯の原画をもとにしたステンドグラスを制作します

野見山暁治画伯の原画をもとにしたステンドグラスを制作し、新庁舎の正面玄関付近に設置します。

野見山画伯の原画によるステンドグラスは、福岡国際空港、博多駅などに飾られており、新庁舎では2.5㎡×8枚を1階の正面玄関左右の窓4か所にはめ込み、庁舎内外から鑑賞できるようにします。

新しい市のシンボルとして皆さんに愛される作品となり、多くの人に鑑賞していただければと考えています。



博多駅

### 新庁舎の鉄骨工事を行っています

8階建て約40mの高さまで鉄骨を組み立てています。

これから、壁や窓の外装工事、床や天井の内装工事に入っていきます。竣工は平成29年2月末で、5月のゴールデンウィークに移転後、新庁舎での業務開始を予定しています。

今後、工事車両の通行が多くなります。十分注意して資材の搬入などを行いますので、ご協力をお願いします。

